

平成 27 年 3 月 21 日

北関東フォーラム

於：シムックス

中斎塾 北関東フォーラム
平成 27 年度第 3 回

情報は古くなる

本日ご紹介する本は『食べ過ぎて減じる文明』西丸震哉著 角川文庫です。昭和 60 年に発行されていますので、かなり昔の本です。ちなみに、毎日お腹いっぱい食べているという自覚のある方？

腹八分目の方？

いつも空腹だという方？・・・お一人いらっしゃいました。

今の日本人は食べすぎですよ。二食が良いという話も結構聞きます。人間の DNA はいつもお腹を減らしているのが当たり前で、食べ物が余分に入ってくれば必ず蓄える仕組みになっているようですから、空腹でいようと努力されている方は尊敬に値します。

前回、井上浩先生に教えて戴いたさつま芋栽培に力を入れている市町村を視察する予定だと申しました。陽明学は行動の学問ですから、実際に静岡県掛川市と名古屋市北区に行きまして。結果を報告いたしますと、情報はいつの間にか古くなるということで、今回は反省をしました。名古屋市北区役所でさつま芋の普及状態をお聞きすると、芋区長さんという方は 15 年も前の方で、今はさつま芋栽培に取り組んでいる団体は一つで、しかも役所がテコ入れしているから何とか存続している状態とのことでした。逆に、町づくり推進室の方に「何か良い知恵はありませんか」と聞かれましたので、「今は第 4 次焼き芋ブームで、スーパーに焼き芋を置くとどんどん売りが伸びるそうですから、それを調べられたらどうですか」とアドバイスをして来ました。掛川市にも行って、報徳社を訪ねましたが、さつま芋栽培については携わっていませんでした。

私は、人様に話をする時には自分で体験したものを話すといい続けていますが、情報は古くなりますから「何年前の経験だけでも・・・」と前置きをして伝えなければいけないと感じました。

おまけの話を致しますと、大阪の U S J に寄ってハリポッター館を見て来ました。東京のディズニーランドと並んで特に若い人に人気のテーマパークで、地元の方に聞くと、行列して入場券を買って、更にハリポッター館は整理券を貰うのに行列するのだそうで

す。幸い、雪が舞う天気でしたからすんなり入場出来たのですが、10代20代の若者で溢れ返っていて、60過ぎのお年寄りほとんどいませんでした。整理券を貰う行列に並んでハリポッター館に入ると、ぎゅうぎゅう詰めの超満員で、確かに子供を見ると楽しいのだろうと感じました。同時に、何か違和感を覚えました。外国では飢え死にする子供たちがもの凄い数になっています。ソ連からロシアに変わった時には、2000万人の人が飢え死にしたようです。そして今は、テロが横行している。・・・世界全体を見ると、とんでもない状況が沢山あるけれども、なぜ日本という国はこれほど平和なのか。大勢の若者の熱気で一見華やかで賑わっているけれど、その裏側には世紀末の奈落が出番を待って、チャンスをうかがっているような気がして背筋が寒くなりました。

そう感じた一つは、テロリストから見たら、いとも簡単にテロを起こすことができます。チュニジアの博物館襲撃テロについては後半の時事評論でも申しますが、観光客を狙ったテロで思い出す事は、エジプトで観光バスが銃撃された事件です。外から襲撃された時、すかさず椅子の下に潜り込むとか、安全な態勢がとれるよう危機管理が身に付いている人達は助かりました。観光バスをわざわざ狙って標的にしたエジプトのテロの記事を読んだから、私は外国に行くのを極端に減らしました。

このように観光客を狙って世間に衝撃を与えるテロは、これからも増えると思います。それを考えるとハリポッター館のように人が溢れているテーマパークなどは、テロリストたちの垂涎の獲物ですね。日本の若者は咄嗟に伏せをして身を守るなどの危機管理は出来ないでしょうし、銃声や騒ぎを聞きつけて、逃げるところか物見高く寄ってくるのではないのでしょうか。

サリンの無差別攻撃を意識したテロリストがいれば、日本に乗り込んでテロ行為をするかもしれません。1000人単位で簡単に殺せる場所が日本には沢山あります。更に武器に関して言えば、日本はスパイ天国で密輸入天国ですから、いくらでも日本国内で調達出来ると思います。遠くない将来、テロリストが本気で日本を狙いだしたら続けざまにやられてしまうだろう…というのが今回ハリポッター館に行った感想です。

ですからこういう場所は出来るだけ避けなければいけないし、日頃から咄嗟の場合の訓練をしておくことが重要だと強く感じました。私はホテルに泊まった時、必ず非常口を確認する癖がついています。出口を確認しただけでは駄目で、ドアを開けて外に出て、間違いなく逃げられることを確認することをお勧めします。自分で実際にやって身体に覚えさせておけば、夜中に突然火事が起きて逃げるような場合、身体が勝手に動いてくれます。

恒例の質問

では、恒例の質問に参りましょう。

- 今月に入ってから今日まで、比較的嘘をつかなかった方
 - 今月に入ってから今日まで、良い日が続いていると思う方
 - 有難うと言ひ、有難うと言われることが多かった方
- 皆さん優秀で、手が挙がりました。文句ありませんね。
- 今月はかなり健康法を実践しているという方
 - 昨晚、明日を過去形でイメージして寝た方

イメージ出来た方が増えました。明日を過去形でイメージすることが自然に出来ると、どんどん人生豊かになります。これは、猪瀬理事長が冒頭の挨拶で言われた「前向き」とか「積極的な生き方」に直結します。明日を過去形でイメージする時には、後向きのイメージはまずありません。

如水会館に渋澤栄一さんの書かれた「功名は多く窮中に向いて立ち 禍患は常に巧処より生ず」という書があります。陸游の「史を読みて」という漢詩の一節で、成功は多くは困り切った時に前を向いて立ち向かう時に生じ、失敗はいつも得意満面の時に生じるといふ意味です。人間が成功する時は、窮地に陥った時に前向き・積極的に立ち向かうからであり、下を向いて嵐が通り過ぎるのを待っているだけでは成功は訪れません。嵐に前向きに積極的に立ち向かう勇氣・その姿勢・行動力が成功を生むのです。

- 今月は何か自分磨きをした方

自分磨きを意識的にすればするほど磨かれて良い人生が開けます。

最後に天風先生のクンバハカの実践をしましょう。肩を上げて、ふっと落とす。落とした瞬間に肛門を締めます。本を読むと色々とやり方が書いてありますが、私が意識したのは肛門だけキュッと締める。すると肩も下がって、力も抜けて、お腹がちょっと出ます。困った時やリフレッシュしたい時など、是非クンバハカをやってみて下さい。

人間社会の崩壊 - 飢餓 -

中斎塾フォーラムの基本哲学は「足るを知る」です。日本人は今、食事で言うと二食ぐらいで「足るを知る」塩梅になるようです。しかし三度三度食べていますし、腹一杯食べています。そういう動物はだいたい早く死んでいたようですから、日本人もその流れに従えば、人口が右肩下がりに減っているのもおかしくはないと思います。

レジュメのテーマに「人間社会の崩壊」と書きました。先月は医療制度を取り上げました。医療費の増大に何とか歯止めをかけたい、その命題に向かってアメリカは先に走っていますから、先々同じような状況が日本にもくる可能性が高い。その一例として、オレゴ

ン州では高額な医療費を自腹で払うか、払えない人には無料で安楽死薬を勧めているという話をしました。また、オバマケア（皆保険制度）を進めたので、お医者さん達は保険請求の書類作成の時間がべらぼうに増えて悲鳴を上げているそうです。そうやって医療制度の崩壊がどんどん進んでいます。

今月は飢餓について、食べ物がなくなるという話を致します。私はこれから日本は食べ物がなくなる、そう実感していますので具体的な行動に移りました。さつまいもの栽培方法を教わって、シムックスの社員と家族、だいたい1万人分のさつまいもを作りたいと思っています。中斎塾フォーラムに関係する方には作り方をお教えしますので、ご自分の家族や会社の人たちを守って戴きたいと思っています。

論語の視点

では論語の解説を致します。本日は子路篇十九～二十です。

【十九】^{はんち}樊遲 ^{じん}仁を問う。子曰く、^{しいわ}居処 ^{きょしよ}恭しく、^{うやうや}事を執りて^{こと}敬み、^と人と^{つつし}忠なるは、^{ひと}夷狄 ^{ちゆう}に之くと ^{いてき}雖も棄つべからざるなりと。

樊遲が「仁とは何でしょうか」と聞きました。

このとき樊遲は28歳、孔子64歳です。樊遲は前にも孔子に質問をして、意味が分からなくて周りのお弟子さんに聞き、それでもよく分からなかった。若くて少し理解力の乏しいお弟子さんですから、孔子が具体的に教えています。

孔子が答えました。「普段の挙措動作は威厳をもってへりくだる。仕事をする時は慎重に、人のお付き合いは誠実に裏切らずにやりなさい。そうすればたとえ野蛮人が住むような地方に行っても、その言葉遣いや動作を見て、周りの人が自然と頭を下げるようになるものだ。」

夷狄といっても、本当に野蛮かどうか分かりません。中華思想ですから、自分の所が中心で他国はみな野蛮だと思っているわけです。

ペリー来航の時、彼が佐久間象山にだけは頭を下げたという逸話があります。威厳があって重々しいと、言葉が通じないで何も分からなくても頭を下げてしまうということでしょう。この部分は、放っておかれないで色々と物事と聞かれるようになる、だから勉強しなさいと樊遲に教え諭しているとお考え下さい。

【二十】^{しこう}子貢 ^と問いて曰く、^い如何なるを^こ斯れ之を^{これ}士と謂うべきと。子曰く、^し己を行^いうに^し恥^い有り、^{おのれ}四方に^{おこな}使して^{はじ}君命を^あ辱めざるを、^し士と謂うべしと。曰く、^あ敢て^そ其の^{つぎ}次を^と問うと。曰

く、宗族 孝を称し、郷党 弟を証すと。曰く、敢て其の次を問うと。曰く、言は必ず
信あり、行は必ず果す。硜硜然として小人なるかな。抑も亦 以て次と為すべしと。曰く、
今の 政 に従う者は如何と。子曰く、噫、斗筭の人、何ぞ算うるに足らんやと。

子貢が孔子に「どういう人物を士といますか」と聞きました。

孔子が答えました。「恥をかくような行動をしない、君主の代わりで外国に出掛けて行った時には、きちんと使命を果たしてくる、そういう人物を士と言うのだよ」

子貢は口八丁手八丁、お金儲けが上手、一を聞いて二か三を悟るような切れ者のお弟子さんですから、お前はそういうポジションにいてきちんと実行できるじゃないか。分かっているくせにいちいち聞くもんじゃないよ…というものが言外にあります。

子貢が「その次の条件は何でしょうか」と聞きました。

孔子が答えました。「親族から親孝行だと言われる。故郷にあつては自然と年長者を敬う、そういう人物を士と言えよよろしい」

中国は個々ではなく、一族郎党みな親族という考え方をします。

更に子貢が「その次にくる条件は何ですか」と聞きました。子貢は納得するまで聞く性格のようです。

孔子が答えました。「言ったことは必ず実行し、嘘はつかない。始めたらやり遂げる。頑固者で視野が狭い器の小さい人物であっても、そういうことが出来れば士と言ってもよろしい」

更に子貢が「しかしながら、今の政治家ではどうでしょうか」と聞きました。子貢はこれが聞きたかったのでしょう。

孔子が答えました。「いるわけがない。ちっぽけな升で量れるような小人しかいない。」

どれだけ器量が大きいかわからないような人物は今はいない…いつの時代も同じだなと感じます。

時事評論

○チュニジアのテロ事件

19 日の日経新聞夕刊に「観光地 突然の凶弾 男ら何でも撃った」とあります。18 日に起きたチュニジアの博物館襲撃テロでは、犯人グループは動くものを何でも撃っていたと書かれています。日本人観光客も 3 人が死亡しました。20 日の日経新聞には、「犯人逮捕イラム過激派と断定。最初から観光客を狙った犯行とみられる」とあります。21 日今朝の日経新聞には、「観光地を狙うのはテロ集団の常套手段だ」と国際テロに詳しい専門家の話

が書かれています。また、「伊藤忠はチュニジア襲撃にあわせて危機管理マニュアルの作成に乗り出している」とあります。

事件発生から今日までの新聞をみると、チュニジアのテロに関する記事は急激に溢れました。それは、何を意味するか……。私は、日本政府は水面下で何か動きを始めたと感じています。そうでなければこれほど短期間に立て続けに、この種の記事が出るはずがないと思います。

以前、新聞を読む時の三つの視点を申しました。一つは民主党の打つ無様な手。わざわざ無様と付け加えましたが、今は自公政権の打つ手、良いものも悪いものもありますからそれぞれを見る。二つ目は国債の動き。三つ目は自然災害。この三つをテーマにずっと追いかけて見て、氣になったものはとっておく。2、3ヶ月すると、入ってきた情報が突如として融合する、と申し上げています。融合する一つの材料という感覚で見ていると、こんな記事が出ていました。

○首相記者会見原案を北側氏が赤ペン修正 (3/12 朝日新聞)

安保法制懇の報告書を受け取った安倍首相の記者会見の原案を、公明党の北側副代表が事前に要求し、修正をかけたという記事です。内容は「与党協議を経た、しかるべき時期」を「与党協議の結果に基づき」に修正。「憲法解釈の変更が必要と判断されれば、内閣の意思を示す」という原稿を「憲法解釈の変更が必要と判断されれば、閣議決定していく」と修正した。つまり、公明党が重いということを書いているわけです。裏側でこんなガス抜きをしている、こんなことを新聞は書くのですね。

○防衛産業育成狙う 日仏共同開発 (3/13 読売新聞)

フランスの国防相は、音波探知機や無人機など少なくとも4分野で日本との共同開発を進める考えを示した、とあります。

これを読んで浮かぶのは、終戦後の佐藤栄作首相です。非核三原則を明言しながら水面下でアメリカに日本の核武装を交渉して断られ、諦めきれずにドイツに核の共同開発を打診して、これまた断られた。そういう伏せんがずっとあるわけです。その中で、軍事開発を一緒にやりましょうと、アメリカでもなくドイツでもなくフランスに持ちかけて、フランスがOKして共同開発をやり出した。自民党のずっと持っているDNAが出て来たなと感じました。安倍さんは戦争の準備を着々と進めているなと読みました。

○エボラ死者1万人超す (3/13 読売新聞)

自然災害についての記事です。WHOの発表で、エボラ出血熱が流行する西アフリカの3か国で感染者累計が2万4350人に達し、このうち1万4000人が死亡したとあります。感

染広がりには横ばいと書いてありますが、この数字の倍、或いは3倍はあると思っています。エボラ熱が1万人で止まる訳がない。これも何かおかしいぞ? と思いながら読みました。

○アジアインフラ投資銀行 英が参加 (3/13 読売新聞)

中国がアジアインフラ投資銀行を作ろうとしていることは、アメリカに替わって中国が世界を牛耳りますという意思表示で、それにアジアの国がどんどん参加をした。そこにイギリスが参加を表明したわけです。当然アメリカが疎外感を持って当たり前です。更にイギリスだけではなく、ユーロ参加国がどんどん増えているわけですから。

そういう状況下にあって、日本は弱気な発言をしています。

○デフレ心理 変化明らか 黒田日銀総裁、「2%上昇」は不透明 (3/21 日経新聞)

最近ではアベノミクスではなく、アベクロミクスと言いますね。黒田総裁は経済財政諮問会議で自ら発言を求めて「国債はもう我々の力ではもたなくなってきた」と明らかにし、危険発言として議事録には載せられませんでした。オフレコであるにもかかわらず漏れ始めています。昨日のラジオでも流れていました。国債はもたないと安倍首相にギブアップ宣言をしたわけです。それが新聞には、このように変な形で出て来ています。

○イオン、15%減益 (3/21 日経新聞)

2015年2月期の連結経常利益が前年より15%減ったとあります。当たり前ではないかと思って読み過ぎたら、後ろの紙面に「ライフコーポ、4割増益 前期営業110億円、既存店が堅調」とありました。大きさが違うという問題ではなく、目の付け所・手の打ち所が違うのではないかと読みました。ですから日本の中はもう、ごちゃまぜになっていますね。目がしっかりしている会社、手の打てる会社というのは伸びていく。自治体も同じだと思っています。

日本はアベノミクスがアベクロミクスに変わってきている。日本がだんだん落ちてきた兆候が表面化してきた。目のある人には見えてきた。・・・そういう時期に入ったと思っています。これから秋にかけて、このままでは日本が危ないという論調がどんどん増えるだろうと思っています。

では我々はどうするか。先ほど猪瀬理事長の言われた、前向き・積極的が良いし、自給自足出来るようにしましょう。身の回りからちょこっと変わってきますから。天下国家を論ずるより自分自身の個人・家庭に目を向けて、自給自足をするとか、友人知人と連絡をとってお互いに相互支援協定を結んでおく、そういう動きが必要でしょう。

お時間になりました。本日の講話を終了致します。